

特別展【森村泰昌 なにものかへのレクイエム：戦場の頂上の芸術】

2010年10月23日(土)-2011年1月10日(月・祝)

20世紀とはどういう時代だったのか？

美術家、森村泰昌は、80年代より一貫して自らの身体を媒介とし、別の人物に変身するセルフポートレイトを発表してきました。

本展で森村は、60～70年代の激動の時代を彩った男たち—浅沼稻次郎（浅沼事件）、オズワルド（ケネディ暗殺事件）、三島由紀夫（三島事件）、また、独裁者、ゲバラ、毛沢東、レーニンなど、自ら築き上げた一時代に君臨し、20世紀の歴史に刻まれた男たち、そして、ピカソ、デュシャン、ポロック、ウォーホルなど前世紀の美術界をリードした芸術家に扮し、過去との対話に臨みます。

さらに、第二次世界大戦終戦の1945年に焦点を合わせ、タイムズ・スクエアの終戦記念パレード、硫黄島の星条旗といった有名な報道写真を題材として、現代的な解釈を加えながら20世紀を振り返り、過去の歴史を現代に蘇らせることを試みます。

森村泰昌という一人の現代作家による報道写真、肖像写真の創造的な再解釈を通して、大きなスケールで20世紀の歴史／記憶を振り返る試みとなる本展は、ジャーナリズムとアート、現実と虚構、過去と現在といった対立的な概念や価値基準に疑問を付し、現代において過去を見つめ直す契機となるでしょう。

【会期】2010年10月23日(土)~2011年1月10日(月・祝)

【会場】広島市現代美術館

【開館時間】午前10時-午後5時

※11月3日は午後7時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

【休館日】月曜日(※ただし1月3日(月)は開館し、4日(火)休館)、  
12月27日~1月1日

【観覧料】一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生500(400)円

※()内は前売りおよび30人以上の団体料金

※11月3日は無料

【主催】広島市現代美術館、中国新聞社

【特別協賛】ジーンズファクトリー

【協賛】株式会社資生堂、富士フィルム株式会社、株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン

【協力】NECディスプレイソリューションズ株式会社、写真弘社、ShugoArts、財団法人草月会

【後援】広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



《なにものかへのレクイエム  
(MISHIMA 1970.11.25-2006.4.6)》2006



《なにものかへのレクイエム  
(遠い夢/チェ)》2007



《なにものかへのレクイエム  
(創造の劇場/パブロ・ピカソとしての私)》  
2010

★森村泰昌（もりむら・やすまさ）

1951年大阪府生まれ。歴史上の人物や映画女優に扮した、セルフポートレート作品を展開する美術家。1988年、ヴェネツィア・ビエンナーレ／アペルト部門に選出。以降、海外での個展、国際展にも多数出品。また宝塚歌劇のポスターのディレクションやイッセイミヤケのプリーツブリーズ／アーティストシリーズの第一弾をてがけるなど、作品制作のノウハウを活かして、多方面で活躍中。

「森村泰昌」芸術研究所 <http://www.morimura-ya.com/>

展覧会構成

第一章「烈火の季節」

三島由紀夫（三島事件）、浅沼稻次郎（浅沼事件）、オズワルド（ケネディ暗殺事件）、ヴェトナム戦争での路上の公開処刑を題材として、60-70年代の激動の時代を彩った男たちを独自の手法で再解釈。

第二章「荒ぶる神々の黄昏」

独裁者、ゲバラ、毛沢東、アインシュタイン、レーニンら20世紀を代表する男たちになり、20世紀を振り返る。

第三章「創造の劇場」

ピカソ、デュシャン、ダリ、ポロック、ウォーホルなど、20世紀の芸術家たちの10人の肖像に森村が挑む。

第四章「1945・戦場の頂上の芸術」

第二次世界大戦終戦の年、1945年に焦点を合わせ、昭和天皇・マッカーサー会見、タイムズ・スクエアの終戦記念パレード、硫黄島の星条旗といった有名な報道写真を題材として、現代的な解釈を加え、過去の歴史を現代に蘇らせることを試みる。

関連プログラム【もうひとつのレクイエム】

森村泰昌自身による自作解説とパフォーマンスを行います。

日時：10月23日（土）16:00-17:30 ※入場は16:30まで

※要展覧会チケット、事前申込み不要

◎その他、展覧会関連プログラムを各種開催します。

【同時開催】 ●きのこアート研究所

2010年11月3日（水・祝）～2011年1月10日（月・祝）

●コレクション展2010-II「メモリー／メモリアル 65年目の夏に」

2010年7月19日（月・祝）～11月7日（日）

●コレクション展2010-III「肖像（ポートレート）：黙して語る」

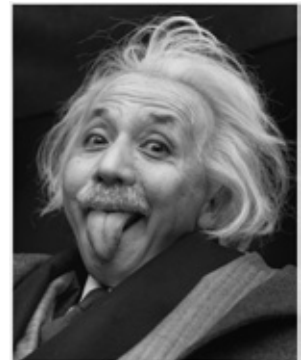
2010年11月20日（土）～2011年2月24日（木）

【次回開催】 ●サイモン・スターリング

2011年1月22日（土）～4月10日（日）



《なにものかへのレクイエム  
(ASANUMA1 1960.10.12-2006.4.2)》2006



《なにものかへのレクイエム  
(宙の夢／アルベルト2)》2007



《なにものかへのレクイエム  
(創造の劇場／動くウォーホル)》2010



映像作品《海の幸・戦場の頂上の旗》2010

広島市現代美術館（学芸担当：角 広報担当：後藤、鈴木）

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ [hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp](mailto:hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp)